

概況

令和6年度 11月に発生した事故についてお知らせします

★工事関係者事故（死亡0件、傷害3件）

- ・労働災害としては、死亡事故はありませんでしたが、3件の傷害事故が発生しました。
- ・内訳は、機材等に挟まれる負傷（※2件）及び工具による負傷（1件）で、そのうち休業4日以上を要する事故が2件となっています。（※）経済産業部 1件を含む

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損2件）

- ・第3者事故として、2件の物損事故が発生しました。
- ・内訳は、架空線の切断（1件）及び粉塵の飛散（1件）です。
- ・最近の傾向として、地下埋設物の破損事故なども増えています。

一現場・安全ひと工夫

「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！

～今回は、建築工事の現場から「見える化」（作業員の安全確保）の事例を紹介します

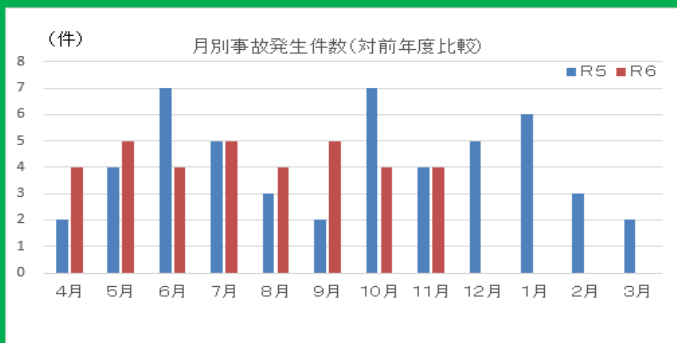
安全通路の明確化



「安全通路」の文字を床面にペイントし、通路と材料置場の位置を分離・明確化することにより、作業員の躓きによる転倒災害等のリスクを減少させた。
⇒「作業員の安全確保」

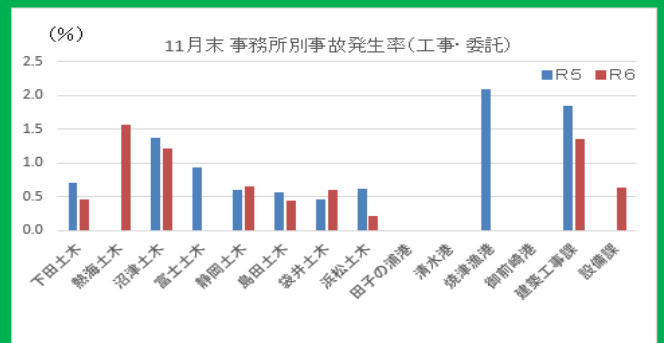
事故関連データ

▼ 11月までの工事事故件数は、前年度34件から1件増



下半期に工事事故件数が増加する傾向があるので要注意

▼5事務所では引き続き工事事故発生ゼロ！



※事故発生率(%)=事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

A-press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”
『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していきます。

【令和6年 11 月の工事等事故】

- 1 鋼矢板による河川護岸を施工中、打込み機（バイブロハンマー）を矢板に誘導しようとした際、打込み機が揺れ、作業員の右肘が定規（打込時に鋼矢板にひねりが生じないように固定する部材）との間に挟まり負傷した。
- 2 既設集水井の底部を砕石により埋戻しをするため、上部からクローラクレーンで砕石を入れたバケットを降下中、井戸内の昇降階段の踊り場で監視作業を行っていた被災者がバケットと階段手摺の間に右手を挟み負傷した。
- 3 河川維持修繕業務において伐採木の小分け作業中、チェンソーの操作を誤り、左人差指、同中指を裂傷した。
- 4 バックホウによる河川の河床掘削工事中、アームで NTT 引込線を引っ掛け切断した。
- 5 道路側溝の修繕工事でエアカッターを入れる作業中、粉塵が飛散し 20m 離れている自動車販売店の新車 30 台に付着した。